



「防災の意識を高く」

校長 杉田 正穂

2学期が始まり、2週間が経ちました。先週の長雨で、暑さも一息ついてくれればと思っていましたが、まだまだ暑い日が続きそうです。9月7日(木)～9日(水)に3年生は修学旅行で京都・奈良へ行ってきました。2年生は12日(火)に都内めぐりの校外学習を実施しました。1年生は夏休みに多くの生徒がイングリッシュキャンプ(千葉県岩井)に参加し、成長して帰ってきました。行事のたびに生徒が成長していく姿が見られます。体や心を成長させるためにも学校行事は欠かせないものだと思います。10月にある大きな行事の合唱コンクールでは生徒主体となって実施し、実行委員をはじめ各パートリーダーが舞台設定や曲の完成を目指して頑張っていくと思います。2学期も多くの行事で生徒が活躍することを楽しみにしています。

*

さて、毎年9月1日は「防災の日」と定められています。1923年(大正12年)9月1日午前11時58分に発生した関東大震災によって死者・行方不明者約10万5千人が犠牲になり、明治以降の地震被害としては最大規模の被害となっており、この日が「防災の日」となりました。そして、今年は関東大震災から100年の節目になります。

これまでも日本国内では地形や地質、海に近いという自然的な条件から、台風や集中豪雨、土石流が発生しやすく、地震による津波などの災害も各地で発生してきました。火山島である日本はその恩恵(温泉や地熱発電)がある一方で噴火や地震といった自然災害も多く、私たちは災害から身を守る意識をもたなければなりません。異常気象が頻繁に起こるようになり強い雨がいつまでも降り続く、線状降水帯と呼ばれるものが多く発生しています。また、台風の勢いも年々増してきているように感じます。地震だけでなく、こうした異常気象にも備えなければなりません。

2泊3日の修学旅行、都内めぐりの校外学習ではここで大地震が発生したらどのように動けばよいかを常に考えながら行動していました。幸いなことに活動中は大きな災害もなく宿舎や学校に戻ってくることができましたが、「地震はいつ起こるか、わからない」を忘れてはいけません。そのためには、平日頃から備えることが大事になります。自宅の家具は転倒防止器具が設置されているか。緊急時の持ち出し用品などは身近に用意しておき、すぐに持ち出せるようになっているか。また、自宅待機する場合には備蓄用品を用意しておき、家族が数日間生活できるようになっているか。そして、家族との連絡手段はどのようにしたらよいかを話し合っているでしょうか。

先日、9月9日(土)に練馬区では一斉防災訓練が実施されました。本校でも初めて引き渡し訓練を実施し、多くの保護者の方が訓練に参加してくださいました。(スムーズに行かなかった点は次回に修正していきます)「備えあれば憂いなし」の言葉のように、地震はいつ、どこで発生するかわかりません。もしもの時に備えて命を守る行動が取れるように、改めて防災の意識を高める機会としたいものです。

*

東京都教育委員会では安全・防災教育を推進しており、「防災教育ポータルサイト」を作成し、インターネットでも確認できるようになっています。学校では「防災ノート～災害と安全～」を活用し、防災教育を進めています。ご家庭でも話し合いの教材としてご活用ください。

また、「防災教育ポータルサイト」には、防災ハンドブック「東京防災」も掲載されており、東京の多様な地域特性や都市構造、ライフスタイルを考慮して、ハンドブックとして作成されています。防災の知識だけでなく、今すぐできる具体的な“防災アクション”が多く掲載されていますので、お知らせします。

防災教育ポータルサイト URL

<https://www.anzenedu.metro.tokyo.lg.jp/bosaikyoku/>



令和5年度全国学力学習状況調査

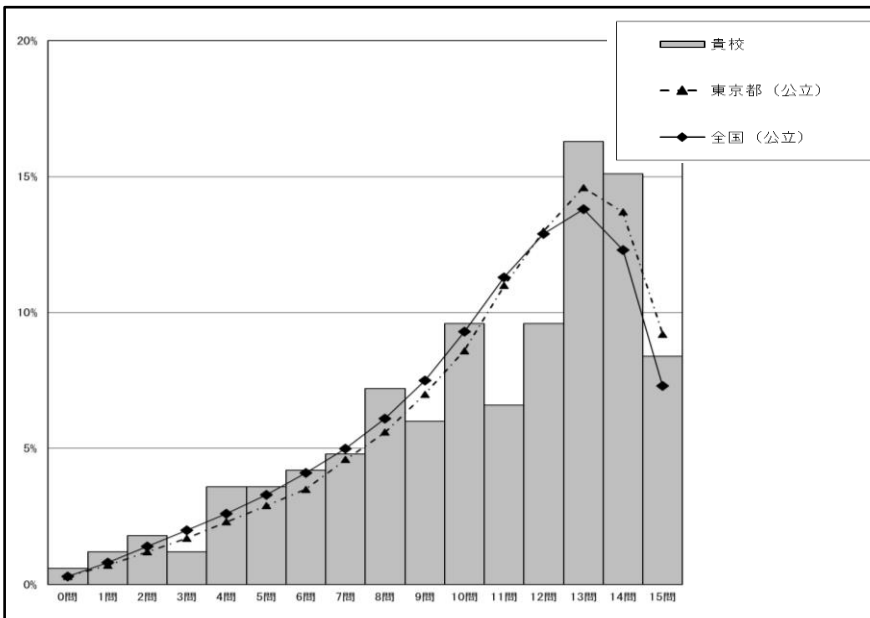
4月18日（火）に実施された令和5年度全国学力・学習状況調査の結果が7月31日（月）に公表されました。この「全国学力学習状況調査」は、生徒の学力や学習状況を調査し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために行っています。本校ではこの結果を基に「授業改善推進プラン」を作成し、授業改善に取り組んでいます。調査内容は次のとおりです。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

この2項目を一体的に問うことになっています。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、英語「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものでした。

本校の結果は以下のようにになりましたので、お知らせいたします。

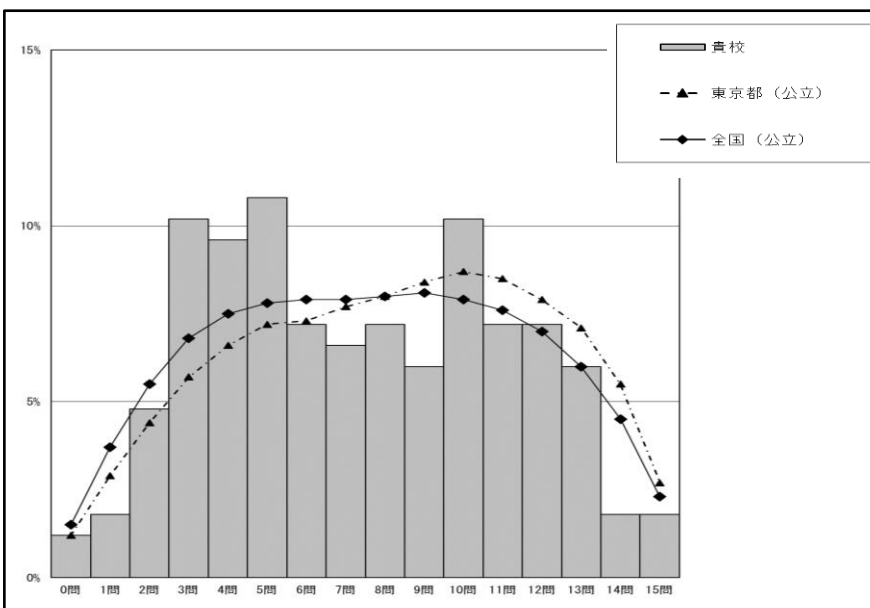
【国語】



	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
本校	70	11.0	3.6
東京都	72	12.0	3.3
全国	69.8	11.0	3.4

平均正答率は東京都の値と比べると2ポイント低く、全国の値とは同程度でした。中央値は東京都の値より1ポイント低く、全国の値とは同じでした。標準偏差は東京都と全国の値よりも1～2ポイント高かったです。左図の正答数分布グラフより、分布の形は概ね同じでした。今後は漢字や語句の意味など、知識をしっかり付けさせたいと思います。

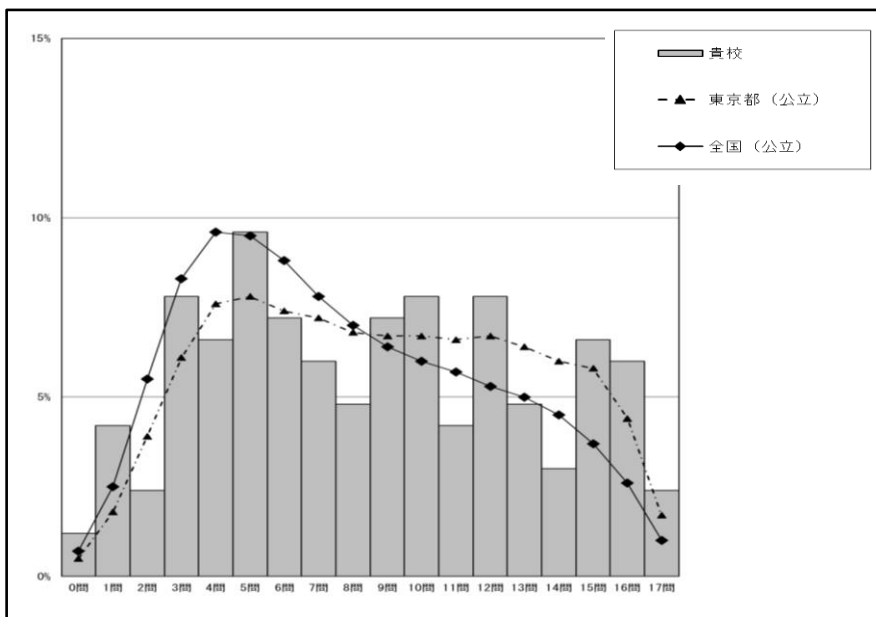
【数学】



	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
本校	49	7.0	3.7
東京都	54	8.0	3.9
全国	51.0	8.0	3.9

平均正答率は東京都の値より5ポイント低く、全国の値よりも2ポイント低かったです。中央値は東京都と全国の値よりも1ポイント低かったです。標準偏差は東京都と全国の値よりも0.2ポイント低かったです。左図の正答数分布グラフより、二極化が起きていて、正答数が3問～5問の生徒数が多くいます。今後は基礎計算や数学の問題文が読めるよう、読解にも力を入れていきます。

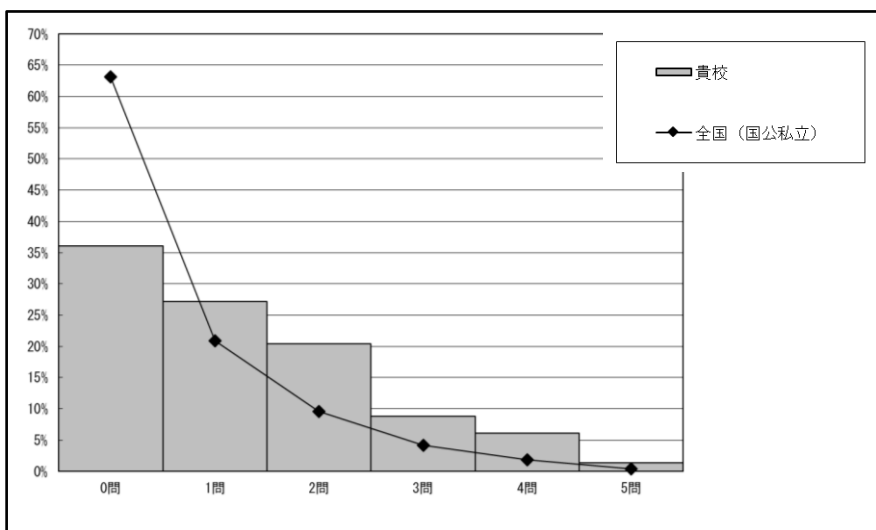
【英語】



	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
本校	50	9.0	4.6
東京都	52	9.0	4.3
全国	45.6	7.0	4.2

平均正答率は東京都の値より2ポイント低く、全国の値より4.4ポイント高い結果となりました。中央値は東京都の値は同じで、全国の値よりは2ポイント高かったです。標準偏差は東京都、全国の値より0.3~0.4ポイント高かったです。左図の正答数分布グラフより、分布にばらつきがありますが、東京都や全国の分布と似た傾向にあります。

【英語 (話すこと)】

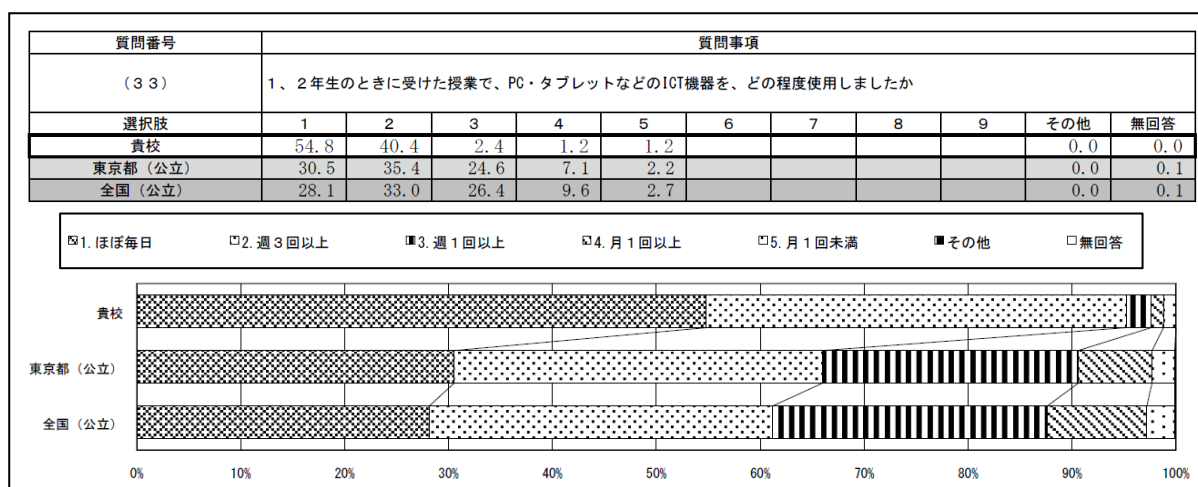


	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
本校	25	1.0	1.3
全国	12.4	0	1.0

(全国との比較データのみ公開されています)

平均正答率は全国の値よりは12.6ポイント高い結果となりました。中央値は全国の値より1ポイント高かったです。標準偏差は全国の値より0.3ポイント高かったです。左図の正答数分布グラフより、本校の「話すこと」の力は全国的には身に付いているように考えられます。

【生活質問紙より】



令和5年度は82項目の質問がありました。「朝ご飯は食べていますか」「就寝(起床)時間は決まっていますか」「スマホや携帯の使用時間はどれくらいですか」「1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」「将来の夢や目標を持っていますか」「国語(数学・英語)は好きで

